

終末への準備

マタイ25：14～30

「今は終末の時代だ！」という人がいます。確かに聖書に主の再臨の日についての記述があります。しかし分かるのは、その日その時がいつであるかは、誰も知ることが許されず、誰も知らないうちに、盗人のように来るということです(マタイ24:36,43)。それでも主の再臨の 때가近いことは、いくつかの現象や前兆から推察できると、聖書には書かれています。

終末の前兆は、全世界的に福音の伝道がなされ(マタイ24：14)、イスラエルの改心が成される(ローマ11：26,27)。多くの背教と災難が起き(マタイ24：9～12)、また、反キリストが現れ(マタイ24：24)、ほうぼうに、今だかつてない天変地変が起きる(マタイ24：6～8)という事です。

それでは主の再臨に、クリスチャンはどう備えるべきでしょうか。主が今、再臨されたら、主の元、天に引き上げて頂けるでしょうか？「常に、目を覚ましていなさい」と主イエスは語られます。いつ主にお会いすることになっても、私たちは主に喜んで頂けるでしょうか？

私たちの生き方を、主の再臨を迎える準備に切り替え、終末への準備に入りましょう。

聖書の学び

(マタイ25：14～30)

タラントとは、与えられた能力・才能・賜物・環境

I、タラントを用いたしもべ

(1 タラントの価値は6,000万円相当)

1、主人が旅に出かける時、しもべたちを呼んで、彼らが見ている前で自分の財産を預けました。何を基準にして、どのような方法で預けましたか。(15節)

2、清算の時が来て、主人から預かったタラントを用いて、その2倍も儲けたしもべを、主人はどのように評価しましたか。(21,23節)

①何を褒めて下さいましたか？

②二人に預けた高額なタラントを主人は何と言っているのでしょうか？

③金額の問題ではないなら、何を喜ばれたのでしょうか？

- ・【忠実】の意味… ^{まごころ} 真心 を込めて、
誠実で、労苦をいとわず、
ごまかしたりしない。

Ⅱ、タラントを用いなかったしもべ

1、1 タラントを預かったしもべは、預かってすぐ、何をしましたか？
その心を考えてみましょう？ (18節)

①預かったタラントの価値（6,000万円相当）が分かっていない。

②人と比較していた。

2、彼は地の中に隠した言い訳を何と言っていますか？ (24, 25節)

①主人に対する批判と非難。

②この1 タラントを地の中に隠したしもべの心には、主人を思い、主人を喜ばそうという思いがない。

3、主人はこのしもべを、どのように評価しましたか。 (26, 27節)

Ⅲ、忠実なしもべとは…

1、私たちが神様に「忠実」であるために、どうしたら良いでしょうか。

①自分に与えられたタラントの価値を理解し、実行する。

②どのようにしたらよいか神様にいつも祈り求める。

2、主の愛を知り、主の愛に応答する

後になっては、もう遅い！

(ある牧師の日記から)

70歳近くの女性信徒が急に召天されました。交通事故でした。その方は天使のようにいつも柔和で、精神障害者の孫娘と共に市場の隅で露天を開き、腰を丸めて働いていました。

その日も朝早くから、仕入れのために急いでいたようです。霊安室に行って遺体を確認し、お祈りしていました。その方は熱心で、よく話しましたが、息子など一人もいないと思っていました。しかし突然、身なりの良い五十代、四十代、三十代の壮々たる男たちが入って来て、「お母さん、親不孝者を赦して下さい」と叫び、むせび泣きしていたのです。

体調もあまり良くない70歳近い実の母親に、精神障害者の娘まで預けて、露天商をさせ苦勞させておいて、死んだ後、今さら親不孝の赦しを請うのか…と愕然としました。しかし私も、この人たちの救いのために、祈らなければと強く思いました。